

12. ^{ばんせいたいろ}万世大路—^{くりこうげごえ}栗子峠越

選定箇所：刈安（山形県米沢市）～栗子峠～大滝～旧高平トンネル（福島県福島市）

概要：福島・山形両県にまたがる福島と米沢を結ぶ街道である。新道建設計画は、明治7年に福島県信夫郡飯坂村に県郡村区画を改革し、第三区会所が設けられ、立岩一郎村民らが、米沢藩通行禁止秘線を廃止し、新道開鑿の議を福島県に建議しようとしたことが発端となる。明治9年山形県令三島通庸らにより山形県と福島県を結ぶ本道路の工事が始められ、明治14年に全長876mの栗子隧道を含む全区間が完成開通する。明治14年10月には明治天皇が巡幸し、翌年、栗子（刈安）新道を万世大路（萬世大路）と称するよう勅令がある。明治初頭の新道建設に関する路線や隧道、橋梁などの施設が現存している貴重な遺跡である。

